

事業名 **夏休みにALTとあそぼ♪**

趣 旨 国際理解教育の一環として、夏休み期間を利用した日常とは異なる環境下で、異年齢間交流を図りながら英語及び異文化に親しむ。

実施主体 新発田市教育委員会 生涯学習課

参加対象 市内小学生

参加者数 186名

回数 4回 日数 4日 時間 15時間

場所 地域交流センター、敬和学園大学

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月25日(水) 9:00~12:00	ALT主導による参加型授業	ALT 6名 ボランティア補助 4名 敬和学園大学生 2名 教職員 3名
	内容・方法	英語に親しみを持つよう、簡単なカードゲームや歌などを交えて学年ごとに分かれて活動。(対象：小学校3～6年生)	
2	7月26日(木) 9:00~12:00	ALT主導による参加型授業	ALT 6名 ボランティア補助 4名 敬和学園大学生 4名 教職員 5名
	内容・方法	英語に親しみを持つよう、簡単なカードゲームや歌などを交えて学年ごとに分かれて活動。(対象：小学校1～2年生)	
3	8月1日(水) 9:30~14:00	ALT主導による参加型授業	ALT 7名 ボランティア補助 3名 敬和学園大学生 4名 教職員 3名
	内容・方法	大学の講義室を活かして、全学年を対象に食に関する英語や外国の食文化について学習。その後、学年ごとに分かれて活動。	
4	8月2日(木) 9:30~14:00	ALT主導による参加型授業	ALT 7名 ボランティア補助 3名 敬和学園大学生 1名 教職員 5名
	内容・方法	大学の講義室を活かして、全学年を対象に食に関する英語や外国の食文化について学習。その後、学年ごとに分かれて活動。	

成 果

- ・ アンケート結果からみて、英語に親しみを持ってもらうことができ、夏休みの居場所づくりとしてよい機会を作ることができた。
- ・ 敬和学園大学の学生から協力を得たことで、児童と指導者との間に立ってもらい、良好な関係を保つことができた。

課 題

- ・ 旧新発田市域からの参加者が多数を占めているため、合併地区からの参加を考慮した開催場所等の検討が必要である。

問合せ先 新発田市教育委員会 生涯学習課 電話：0254-22-9534

事業名 **市民教養講座「英会話教室」**

趣 旨 英会話を通じて、コミュニケーションの取り方や異文化を学び、国際社会の中で教養を高める。

実施主体 新発田市豊浦地区公民館

参加対象 18歳以上で英会話初級程度の方

参加者数 延べ286人

回数 20回 日数 20日 時間 30時間（各回90分）

場所 新発田市豊浦地区公民館 視聴覚室

内 容

回・期日・時間	テーマ	講師等
6月5日(火) ～8月7日(火) 10回 9月11日(火) ～11月13日(火) 10回 全20回 毎週火曜日 午後7時30分～9時	「英会話を学んで、話してみよう」	山崎 ジーナ (豊浦地区在住)
内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストやプリントを使って、よく使う日常英会話表現の学習</li> <li>・日本と諸外国との違いについてのお話、体験談（文化、習慣、表現方法など）</li> <li>・ゲーム（頭と体を使う、ユニークなものばかり！） →その中から紹介『ハロウィンパーティー 夢笑い』&lt;10月30日(火)実施&gt; Jack-o'-lantern（かぼちゃの灯籠。かぼちゃの中をくりぬいて、目、鼻、口を形づくったもの。そのまま飾る場合もあるが、ろうそくや電球等を入れて灯すことが多い。）の絵を、目隠しした状態で、グループで協力して描いてみよう！</li> </ul> <p>◇用意したもの:オレンジ色の紙(A3)3枚、マジック3本、ホワイトボード1つ、マグネット6個、賞品10個</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①教室生を3グループにし、ホワイトボードにオレンジ色の紙(A3)3枚を横向きに置き、マグネットで貼り付ける。任意でそれぞれグループ名をつける。</li> <li>②各グループで1人選び、ホワイトボードに貼ってある各グループの紙の前に“目隠し”をして立ち、Jack-o'-lanternの絵の一部分を(最初は、「かぼちゃのふち」)描く。</li> <li>③終わったら次の方に交代して「目」を、終了後、交代して「鼻」を、最後の方が「口」を描いて完成。</li> <li>④全員で、各グループの仕上がりを楽しむ。</li> <li>⑤最後に、一番本物に近い絵を描いたグループの全員に賞品を渡す☆</li> </ol>	

成 果

- ・ 英会話教室終了後も、さまざまな場や方法で学習を続けている方が沢山いる。
- ・ 英会話教室での出会いを通じて仲間ができ、語学学習はもちろん、その他さまざまな交流が始まっている。
- ・ 豊浦地区でも英会話教室を開催していることが広まり、他地区の方々からも参加者が多くなっている。

課 題

- ・ 講師の依頼（語学習得のために開催期間を約半年と設定しているため、引き受けてくださる方を探すのが難しい。）
- ・ 学習したい方々への継続した学習機会の提供（教室終了後はサークルを結成する等で学習を続けていただきたいが、結成したい気持ちのリーダーがいても、時間の制約があるため、なかなか実現しない。）

問合せ先 新発田市豊浦地区公民館 電話：0254-22-2081

事業名 日本語交流ひろば

趣 旨 定住外国人への日本語支援及び日本文化の伝習

実施主体 南魚沼市教育委員会、南魚沼地域日本語交流支援実行委員会

参加対象 在住外国人

参加者数 受講申込者 35名、支援スタッフ 20名

回 数 水曜の午後・夜とも それぞれ年40回

場 所 南魚沼市中央公民館及び市内

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	毎週水曜日 午後1時～ 3時	日本語交流ひろば「水曜：午後のひろば」	市民ボランティア
	内容・方法	・ 日常生活や趣味などの情報交換を通じて、この地域の文化・生活習慣などを理解したり、料理講習や軽スポーツなどで親睦交流を深めている。	
2	毎週水曜日 午後7時～ 8時30分	日本語交流ひろば「水曜：夜のひろば」	市民ボランティア
	内容・方法	・ 日本語学習教材のテキストを使いながら、日本語文法などを中心に、学習指導を行っている。指導スタッフの中には、中国語に堪能な者もあり、来日間もない中国出身者に中国語を交えながらの指導で、理解の時間短縮や意思の疎通が円滑に図られて、安心感や期待感もあって好評を博している。	

成 果 ・ 来日間もない方が、夫や家族との会話、意思の疎通に困って、交流ひろばに参加され、とても喜ばれた。“ひろば”では、日本語を学んだり、同郷の仲間と母国語でにぎやかに会話したり、市民ボランティアスタッフと親睦を深めたりと、貴重な交流の場となっている。

課 題 ・ 日本語の習得とともに、徐々に就労されて忙しくなるためか、また学習の必要性が薄れるのかどうか、“ひろば”への参加人数が減少傾向となってきている。ただ、今後来日されて日本語学習を必要とする方のためにも、“ひろば”の継続が大切と考えている。

問合せ先 南魚沼市教育委員会 社会教育課 大和社会教育係